加法と 減法 ドリル⑤

中1／ドリル 項目3 ⑤ 定期テストの形／25点・15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿ /25

・全部で 25点・15分。答えは 四角に、大問4の 説明は、自分の ことばで 枠に 書く。○で かこむ 問題は 1つ かこむ。−（マイナス）を 省かない。 加法と 減法の 符号の きまりを 使う。
・大問3は、「正しい」「まちがい」の どちらかを ○で かこみ、まちがいなら 正しい 答えを、正しい 答案なら「同じ」と 四角に 書く。

大問1 選ぶ

各2点（6点）

(1) **(−9) + (+4)**

13　5　−5

(2) **(−8) − (−3) の 答えは**

正の数　負の数　0

(3) **(+6) − (+10)**

−4　4　−16

大問2 計算

各3点（9点）

(1) $(-\frac{1}{4}) + (+\frac{5}{6})$

(2) **(−15) − (+8)**

(3) **0 − (−1.5)**

大問3 答案を 調べて 直す

各2点（4点）

(1) **「(+8) + (−13) = 21」**

正しい　まちがい

正しい答え

(2) **「(−6) − (−9) = 3」**

正しい　まちがい

正しい答え

大問4 説明

6点

(+1) − (+6) の 計算を、「ひく 数の 符号」と「絶対値」の 語を 使って 順に 説明しなさい。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「正負の数」のプリント一覧がひらきます

加法と 減法 ドリル⑤【こたえ】

中1／ドリル 項目3 ⑤ 定期テストの形／25点・15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿ /25

大問1 選ぶ

各2点（6点）

(1) **(−9) + (+4)**

13　5　**−5**

(2) **(−8) − (−3) の 答えは**

正の数　**負の数**　0

(3) **(+6) − (+10)**

−4　4　−16

大問2 計算

各3点（9点）

(1) $(-\frac{1}{4}) + (+\frac{5}{6})$

$\frac{7}{12}$

(2) **(−15) − (+8)**

−23

(3) **0 − (−1.5)**

1.5

大問3 答案を 調べて 直す

各2点（4点）

(1) **「(+8) + (−13) = 21」**

正しい　**まちがい**

正しい答え **−5**

(2) **「(−6) − (−9) = 3」**

正しい　まちがい

正しい答え **同じ**

大問4 説明

6点

(+1) − (+6) の 計算を、「ひく 数の 符号」と「絶対値」の 語を 使って 順に 説明しなさい。

ひく 数 +6 の 符号を 変えて (+1) + (−6) に 直す。
異符号なので 絶対値の 差 6 − 1 = 5。
絶対値の 大きい −6 の 符号 − を つけて −5。
（2点：ひく 数の 符号を 変えて 加法に 直す／2点：絶対値の 差を 出す／2点：絶対値の 大きい 方の 符号を つけて 答え）

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

1(1) は −5。1(2) は −8 + 3 = −5 で 負の数。1(3) は −4。

2(1) は $-\frac{3}{12} + \frac{10}{12} = \frac{7}{12}$。2(2) は −23。2(3) は +1.5（1.5 でも ○）。

大問3 は 各2点（判定の ○で 1点・正しい 答えの 四角で 1点）。(1) は 異符号なのに 絶対値を たしている（正しくは −5）。(2) は −6 + 9 = +3 で 正しい（「同じ」）。

大問4 は ひく 数の 符号を 変えて 加法に 直す・絶対値の 差・絶対値の 大きい 方の 符号を つけた 答え の 3つで 採点（各2点）。

別解の 扱い：分数は 上下でも 斜め線でも ○（約分してあること）。小数も ○。+ と 単位は なくても ○。